

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	1
サポートクラス	レンジャー	Lv.1:	レンジャー	性別	女
称号クラス				年齢	ひみつ
種族	ヴァーナ			境遇	師匠
出自 (効果)	冒険者			目標	金銭

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	8	9	12	6	12	6	9
ボーナス	2	3	4	2	4	2	3
クラス修正	1	2	1	0	2	0	0
他修正							
能力値	3	5	5	2	6	2	3

HP	32
MP	28
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ライトクロスボウ	20m	-1	5	0	0	0	-4	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	レザージャケット					4			-1
補助									
装身具	シーフズツール								
	能力値		5	0	5	0	2	11	8
スキル									
その他									
	総計(右)		4	5					
	総計(左)				5	5	2	7	7
	総計(両)								m
	ダイス数		2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
トロープ	
トランタン	
火打石	
MPポーション	
毒消し	
理力符	
バックパック	
ベルトポーチ	
矢筒	
ファインアロー	

現在重量:	15	所持金:	1065	預金・借金:	
最大重量:	16				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハイジャンプ	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 兎族、ムーブアクションでエンゲージを離脱しても、マイナーアクションを行うことができる								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果: 武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]								
	1							
ブルズアイ	★	6	マイナー	-	自身	自動		
効果: 射撃攻撃のダメージに+【感知】								
	1							
アームズマスターリー:弓	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 弓の命中に+1D								
スペシャライズ:弓	1	-	パッシヴ	-	自身	-	弓使用	
効果: 命中に+SL、ダメージに+SL								
	1							
インタラプト	★	-	効果参照	視界	単体	自動	シナリオ回	
効果: 対象のパッシヴ以外のスキルを1つ無効化する								
ファインドトラップ	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: トラップ探知+1D、失敗しても作動しない								
リムーブトラップ	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: トラップの解除判定に+1D								

お金とマジックアイテムが大好きなヴァーナ。

両親は冒険者をしていて、小さい頃何度か冒険に連れて行ってもらったことがある。その中で両親が使うマジックアイテムに強い興味を持った。『こんな不思議で便利な道具、私も欲しいなあ』。だが無論マジックアイテムは高価で簡単に手には入らなかった。この頃からアルサラはマジックアイテムと金銭にすこずつ執着するようになっていった。

アルサラはある程度大きくなると、交流のあった両親の冒険者仲間の一人に頼んで、冒険者として必要な戦う力を学んでいった。アルサラがラーシュと知り合いエリンディル・トラベラーズに入ったのは、冒険者として少し活動してからだった。エリンディル・トラベラーズに入ってからは、使い切れないほどのゴールドを稼ぎ、憧れだったマジックアイテムをばんばん購入していった。しかしラーシュがギルドマスターを辞めてしまったからは、大した依頼も来なくなり、お金も稼げず、「つまらない〜」とくずぶっている。

「アルサラだよ〜 ヴァーナのアウトリアで歳はひみつ。」  
「ラーシュがいたときは、エリンディル・トラベラーズとして、ばんばんお金が稼げたからマジックアイテムも買い放題だったのに」  
「ラーシュがいなくなっちゃってからは、つまらない日々を送ってる〜。」  
「マジックアイテムとお金が欲しい理由？ 小さいころから欲しかったけど、当時はどっちも手に入らなかったんだ」  
「で、大人になったら、欲望が解放されて、どんどん稼いで、ばんばん買ってたわけ」  
「どこかに面白いマジックアイテムか、お金がたくさんもらえる依頼、おちてないかなあ〜」